

農林水産省、エン・ジャパンで 「総合職」の公募を開始！

エン・ジャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：鈴木孝二）は、2025年2月27日（木）より、農林水産省の『ソーシャルインパクト採用プロジェクト』（<https://www.enjapan.com/>）を開始しました。当社が運営する採用支援サービスを通じ、「総合職」を公募します。下記、本プロジェクト概要と、農林水産省のコメントを紹介します。



特設ページはこちら ⇒ https://www.enjapan.com/project/maff_2024/

プロジェクト概要

生命を支える「食」と、安心して暮らせる「環境」を未来の子どもたちに継承していくことを使命に掲げる農林水産省。食の安定供給や一次産業の振興、環境保全など、幅広い領域の政策を推進しています。中でも省全体で掲げている重点テーマの1つが「輸出促進」です。政府全体で2030年までに農林水産物・食品の輸出額を5兆円に引き上げるといった挑戦的な目標が掲げられ、同省では様々な施策を企画・推進しています。そのほか、省内全体のデジタル活用を促進していくDX推進など、注力すべきテーマは多岐にわたります。

輸出強化やDXをはじめ、様々な政策をより強力に推進していくために、同省が力を入れているのが中途採用です。実は中央省庁の中でも、国家公務員試験なしの民間出身者の採用をいち早く実施してきました。年間の中途採用者比率は直近3年で8%→22%と約3倍に増加しており、多様な人材の受け入れが着々と進んでいる状況です。すでに多くの民間出身者が活躍しており、民間企業という役員クラスに相当する「指定職（部長・審議官）」として中核的な業務を担う方も。今後も多様なバックグラウンドを持つ人材を迎え入れ、組織を強靱なものにするため、公募を行なうことになりました。

今回は、事務系の「総合職」を募集。同省独自の選考採用として、いわゆる国家公務員試験（教養試験などの筆記試験）を介さず、一般企業に近い形で選考を実施します。食や環境など身近な領域を広く扱う農林水産省だからこそ、これまで培ってきた専門性を活かせる機会が豊富に用意されています。日本の一次産業を守り、育て、広める。壮大なミッションに挑む志ある方からのご応募をお待ちしています。

農林水産省 コメント

農林水産省は、生命（いのち）を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来の子どもたちに継承していくことを使命としています。国内では人口減少により需要が減る一方で、世界的な人口増加や気候変動等による食料安全保障上のリスクが増加するなど、農林水産業・食品産業を取り巻く情勢は大きく変化しています。

こうした変化の中でも、国民に食料を安定的に供給しつつ、農林水産業・食品産業を更に成長させていくためには、国内の生産現場から海外マーケットまでを幅広く視野に入れて課題に対応した政策を打つ必要があります、まさに新たな感覚・視点が重要となっています。

農林水産省では約15年前から社会人採用を始めており、その1期生が民間企業の役員に相当する役職（部長・審議官）に就任しています。現在では、年間入省者の約3割を社会人採用者（※）が占めるなど、いまや社会人採用者がいるのが当たり前の環境です。民間企業や公的機関等でのキャリアを生かして、過渡期にある農林水産政策に取り組む熱意を持つ方のご応募をお待ちしております。

※総合職事務系入省者の値

募集要項

- ・ **募集職種** 総合職事務系
- ・ **応募受付サイト** 『エン転職』 『エンゲージ』 『AMBI』 『ミドルの転職』
- ・ **応募受付期間** 2月27日（木）～3月26日（水）
※上記は『エン転職』 『エンゲージ』 『AMBI』 『ミドルの転職』 内での受付期間です。
- ・ **特設ページ** https://www.enjapan.com/project/maff_2024/



IT企業から農林水産省に転職した村岡氏（2023年入省）のインタビュー動画も公開しています。

IT企業から「農林水産省」に転職。志望動機は？
省庁と民間企業の違いとは？

<https://youtu.be/DIq8mxyfvGg?si=LceYxJzKSBFtrRfs>

